

リサイクル 巨大店舗の貯留槽は強固な再生プラ ジオプール AE-1

名古屋のコストコ新店舗

「COSTCO」は、全世界に800店近い店舗を持つ大型会員制スーパーです。会費を徴収することで、原価ギリギリともいわれる低価格を実現し人気を得ています。アメリカ発祥ならではのメガサイズな輸入食品から日用品、家電まで扱いは幅広く、大量に安く購入したい家庭には特に嬉しい選択肢でしょう。

日本国内では1999年の福岡初出店以来堅調に店舗網を拡大しており、今年新たに加わる「守山倉庫店」「石狩倉庫店」「熊本御船倉庫店」を含め30店の体制となります。新店舗のうち「守山倉庫店」は名古屋市内への初出店で、市中心部からは20kmほど、東名高速道路の守山スマートICが至近と利便性の高い守山区内に建設されました。

この店舗は敷地面積34,600m²、延床面積32,500m²と既存コストコ店舗の例に漏れず大規模で、都市計画法に定める開発行為に相当するこ

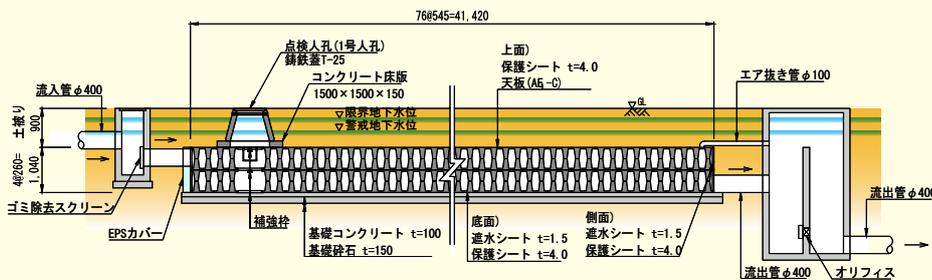


と、また現地は至近に流れる庄内川の浸水想定区域に含まれていることから、「ジオプールAE-1」を用いた貯留槽を敷地内に埋設し、流入する雨水への対策としています。

ジオプールAE-1は軽量の再生プラスチック製ユニットを積み重ねて貯留槽を構成しますが、その強度は市場の同類製品中でもトップクラスのT-25相当(車両総重量25t対応)

を確保。当計画では従業員の出入りに加えトラックの商品搬入路にもなっている部分に設置されており、この荷重に充分耐えるものである必要がありました。

施工に際しては、部材1ユニットが5kg程度と軽量なため人力でスピーディな工事を行うことができ、コンクリート製貯水槽のように現地で打設する際の養生期間も全く不要なため、全体工期を大きく短縮することができました。



工事概要

施主：コストコホールセール
ジャパン株式会社
工事名：名古屋市守山区
コストコ新設工事
施工：大成建設株式会社
商品：ジオプールAE-1
1,348m³

大仏様の足下にはお花畑や小さい動物園もあり、花摘みや小動物にエサをあげての触れ合いもできますので、家族で楽しい時間が過ごせますよ。夏の時期にはライトアップや花火の打ち上げなど夜のイベントもありますので、茨城県にいらした際はぜひ牛久大仏に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

そのなかでも私のおすすりは、牛久大仏です。ブロンズ製の立ち姿の仏像としてはなんと世界最大の高さ一二〇センチ、ギネス世界記録にも登録されています。遠くからでも木々の間にひよっこり見える頭はとてかわいのですが、近づくにつれ、あまりの大きさに圧倒されます。

大仏様のくるくるしている髪の毛を螺髪といいますが、一個の直径はなんと一センチ、二百五十個の重さ、さらにその数は計四百八十個。髪の毛だけで九六トンにもなるとは驚きです。

大仏様は胎内拝観といって胎内に入ることができ、さらにエレベーターで昇って地上八五センチの展望室からの景色を楽しむこともできます。

茨城県といえば皆さん、何を思い浮かべますか？やはり一番は納豆でしょう。茨城で育った私も毎日といっていいほど納豆を食べますが、実は納豆以外にも茨城県には隠れた魅力がたくさんあります。

牛久大仏
経営企画部 津田恵里

自社商品+提案力でマッチング

多数アンカー式補強土壁+ダイプラハウエル管+フリーステップ

大分県西部に位置する竹田市。その市内山間部を走る「白丹竹田線」は地域の生活道路として欠かせない一般県道ですが、安全なすれ違いができない狭小区間が多く存在しているため、これを解消する工事が順次進められています。

この道路整備において、道路脇を流れる川（一級河川大野川水系稲葉川）が近いため法面のある一般的な盛土拡幅工法では施工が難しい箇所において、「多数アンカー補強土壁工法」による垂直壁が計画、施工されることとなりました。

ところが工事が開始される直前になり、地元住民から「直下にある農業用水路に行くための階段を、壁面に付けて欲しい」との要望が寄せられました。それまで自然の斜面であったところが垂直壁となっ



まっては行き来ができなくなり、遠回りを余儀なくされてしまうとのことでした。

「住民の要望に応えたい!!」しかし多数アンカー式補強土壁は設計上、後付けの階段を壁面材から支持するような負荷は全く考慮されていないため、階段を付けるとなると壁全体の設計変更になりかねません。そこで岡三リビングは、壁面とは別に自立式として設置できる「フリーステップ」をマッチング、これが採用となりました。

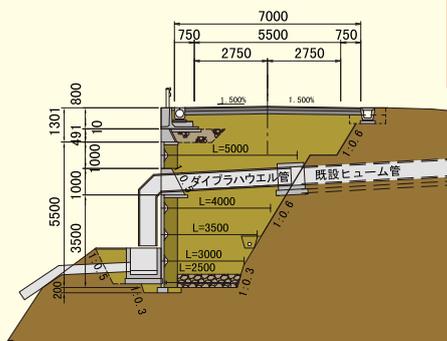
また壁面には排水路としてダイプラハウエル管も設置されており、これも岡三リビングが納入。その対応

力の幅広さを物語っています。

多数アンカー式補強土壁工法など土木工法のメーカーとして設計を担いながら、全国ネットワークを駆使した様々な資材の商社機能を併せ持つ事で多くの選択肢から、周辺環境にも合致した最適解を導き出すことができるのが岡三リビングならではの持ち味「提案力」「マッチング力」です。

工事概要

施主：大分県竹田土木事務所
 工事名：令和元年度交付地改竹第2-3号道路改良工事
 施工：株式会社大丸建設
 商品：多数アンカー式補強土壁、ダイプラハウエル管、フリーステップ



そして時は流れ二〇一八年、米国電子電気学会（IEEE）はトロンが既にIoTに欠かせないとして学会自ら管理に乗り出す国際標準規格に規定。地味に電気製品の中の黒子として尽くしたことで、三十年越しの無念をようやく晴らすことになった。

そのために「アメリカ力がトロンを潰した」とよくいわれるが、これは解決策を見出せなかった日本側の失態だろう。

だがバブル景気に沸く日本を危険視した米政府がトロンを非関税障壁リストに含めたことが逆風となる。当時トロンはPC用OSへの発展が見込まれていたが、腰がひけた日本メーカーがPCへのトロン採用を相次いで見送り、これでマイクロソフトのライバルとなり得たOSが日本市場から消えたのだ。そのため「アメリカ力がトロンを潰した」とよくいわれるが、これは解決策を見出せなかった日本側の失態だろう。

トロンは八〇年代に着想され、国内大手電機メーカーがこぞって参画。生活の場全般で統合的に用いることを当初から想定し、コンピュータ制御の「電脳住宅」が試作されるなど先進的かつ意欲的な仕組みだった。

近年はカメラや音響機器、自動車など様々なモノ同士が通信で結ばれ、住宅や家電のIoT化といった話題にも事欠かない。こうした場面で活躍の場を広げているのがIoT用国産OS「TRON」だ。国内ではUNIX系などを抑えトツプシェアだという。

黒子のトロン



記：編集T